

社会資本総合整備計画 中間評価書												令和08年09月17日
計画の名称	端島海岸における史跡保護のための環境整備（第1期）											
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）									重点配分対象の該当		
交付対象	長崎市											
計画の目標	端島海岸は、史跡 端島炭坑跡の防波護岸であるとともに、世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の一つとなっているが、平成26年及び令和2年に来襲した台風では、護岸の倒壊及び越波水による島内の洗堀により、遺構の倒壊の恐れが発生した。また、護岸は老朽化による機能低下も著しい状態である。よって、当海岸の護岸の補強整備により、機能の向上を図り、護岸の倒壊を防止し、遺跡の保護を図ることを目的とする。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,850	A	2,850	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		292,000	292,000	292,000
1	事業箇所における護岸の倒壊による島内遺構及び見学施設の損壊により、上陸観光が停止になる可能性を解消することで、海岸の観光地としての利用の促進を図る。 端島観光上陸者数	292000人/年	292000人/年	292000人/年

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
海岸事業	A09-001	海岸	離島	長崎市	直接	長崎市	環境	港湾	高島港海岸端島地区海岸 環境整備事業	護岸補強 L=590m	長崎市	■	■	■	■	■	1,461	6.1	—
	A09-002	海岸	離島	長崎市	直接	長崎市	環境	水国	端島海岸環境整備事業	護岸補強 L=560m	長崎市	■	■	■	■	■	1,389	6.1	—
											小計						2,850		
											合計						2,850		

中 間 評 価

○中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制

長崎市世界遺産室において中間評価を実施

中間評価の実施時期

令和8年4月

公表の方法

長崎市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

コロナ禍で端島上陸者数が落ち込んだ令和2年度から5年連続で上陸者数が増加している。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

コロナ禍で端島上陸者数が落ち込んだ令和2年度から5年連続で上陸者数が増加したが、天候の影響等もあり目標値は達成できなかった。今後も端島の護岸整備工事を進め、島の形を保ちながら安全に上陸できるようにすることで、上陸者数の増加に繋げる。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	端島観光上陸者数		
	中 間 目標値	292000人/年	天候や海の状況により上陸できない日があったため。
	中 間 実績値	252015人/年	